

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (沖縄)	良くなる	ゴルフ場（経営者）	・イベントによる集客効果が3月までには出てくると予測する。
	やや良くなる	百貨店（営業企画）	・翌年1月に、今まで移転していた役所が3年ぶりに新庁舎に戻って業務を再開するため、弊社周辺の人の動きが変わってくると期待している。
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	・12月は、前年に比べて観光客の予約状況はあまり良くないが、来年1月以降は前年よりは若干良くなってきている。旅行代理店からも、年明け以降沖縄方面の予約状況は、伸びているとの話があり期待される。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・消費増税を気にしている客の商談や接客が多く、しばらくは、建築意欲の高い客が増えると見込む。また、金利も低い状態にあり、住宅取得検討には良い時期だと期待する。
	変わらない	スーパー（企画担当）	・現在までの数か月の来客数が、横ばいで推移していることと、今後の近隣への競合店の開店予定が無いことから、売上に大きな変化は無く、前年並みで推移する見込みである。
		スーパー（販売企画担当）	・5月に競合店のオープンとディスカウントストアへの業態変更があり来客数の減少が続いていたなかで、さらに新規競合店のオープンがあり、しばらくは来客数の減少が想定される。
		コンビニ（経営者）	・前年の東日本大震災の影響で異常な売れ方をしたたばこが平常値に戻ったため、客数減が2、3か月続くともみる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も来客数の減少はこのトレンドで進む。年末商戦も前年並みとみる。気になるのは郊外にも複合あるいは大型店の出店が目立つことで、ますますパイの奪い合いが強まり、コンビニの来客数も奪われていく可能性が高い。
		コンビニ（エリア担当）	・県経済は安定しており、大きな上ブレ、下ブレは無いと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・前月、前々月と比べて来客数は増えてきている。販売量も少しは上がっているが、以前と比べてまだまだ少ないのが現実である。12月の商戦で、これからどうなるのか様子を見たい。
観光型ホテル（マーケティング担当）		・この先の予約状況も現段階では、今月と同様に推移すると予測している。年末年始は当初、円高による海外旅行との競合で稼働が伸びるか心配だったが、例年どおりの需要があり安定している。	
通信会社（店長）		・現在新商品の発売ラッシュで販売も好調だが2、3か月後には落ち着いてくると予想できる。しかし、今月同様大きな落ち込みは無く春商戦に入っていくともみる。	
住宅販売会社（代表取締役）		・政治、経済状況が混沌としており、将来の見通しが立たない。	
やや悪くなる	その他専門店[楽器]（経営者）	・売上減少の中、価格競争もあり、在庫が増えて更なる安売り合戦の警戒が必要である。	
	その他専門店[書籍]（店長）	・年末を迎え期待したいところだが、今後の売上は、今月の推移をみるとそこそこ上がっても、前年比を上回ることは無いと推測する。	
	観光名所（職員）	・個人客が海外旅行へシフトする。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街に観光客は来客数としては多少戻ってきているが、財布のひもが固くて、単価的に相当落ち込んでいる。さらに地元客消費向けの店舗も、ちらほら空き店舗が出つつある状態である。まだまだ売上の厳しい状況が続く。	
	その他飲食[居酒屋]（経営者）	・客のお金の使い方が変わってきている。日ごろは我慢に我慢を重ねて、自分の食べたい物、欲しい物を月に1回派手に使うパターンが増えている。また、飲食好きな客の要求水準も非常に高くなって、インターネットの口コミサイトを利用して、より美味しくレベルの高い店に移る傾向にある。	
企業動向 関連  (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・引き合い及び申込件数が増加している。
		通信業（営業担当）	・全体的に少額の利益が残る案件の確保が可能な状況であるとみる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共工事向けはやや増加し、民間は横ばいの見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古地区では、伊良部架橋関連工事は来年以降のアスファルトの骨材を残すのみであるが、今年は、農水関連や周辺工事が出ているため大きな変動は無い。
広告代理店（営業担当）		・交付金に依存する傾向が強いため、実質的な景気見通しが立ちにくい。民間企業の販促費投資は相変わらず厳しい状況にある。	
会計事務所（所長）	・政治の混迷状態が当分続くとみられ、経済政策に期待薄である。		

	やや悪くなる	輸送業（本社事業本部）	・新規出店も落ち着き通常の運用に変わるため、現在と比較すると取扱量は減少する。新たな取扱数量の増加予定は無い。
	悪くなる	-	-
雇用 関連  (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・既存ユーザーからの依頼は多いが、契約終了もある。また派遣法改正の影響で、今までの単発派遣ができない職種が出てきた分、数字に影響が出ているので、今後の推移が気がかりである。
		人材派遣会社（総務担当）	・派遣終了者は、前年より増加してきており、またスタート人数は前年より少なくなってきた。受注案件の全体の合計件数も前年比マイナスである。企業の景気に対する不安要素が感じられる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年と変わらず、年末年始は求人数が減る。
やや悪くなる	-	-	
	悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・政権交代による政治の不安定さが国民生活にすぐに反映され、影響を及ぼす予感がする。